

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	近例	修正 使用 措置	感染症(PT)	出典	概要
												ウイルス感染	Herald Sun online 2007年4月22日	オーストラリアVictoriaで、一人のドナーから臓器移植を受けた3例が死亡した。当初、原因不明であったが、コロナヒア大学の専門家の協力を得て、未知のウイルスが原因であることが明らかとなった。このウイルスは黄熱病、エボラおよびリハ性脈絡膜膜炎の原因となるげっ歯類媒介アレナウイルス科に属していた。3例の移植患者すべての多数の検体からこのウイルスが検出された。臓器移植により伝播したと思われる。
												細菌感染	第81回 日本感染症学会総会・学術講演会(2007年4月10-11日) W17-2	北海道から九州の8病院において肺炎患者を有する6名の患者の痰または気管洗浄液から抗酸菌を分離し、分離菌の集落形態、培養・生化学的・分子遺伝学的性状並びにニコール酸のHPLCについて検討した。全ての分離菌は共通の集落形態、培養・生化学的性状を示した。分子遺伝学的にも高い相同性を示した。4つの分離菌株由来のニコール酸HPLC分析の結果、米国CDCのLibrary databaseにはない新種の抗酸菌と考えられた。
												ウイルス感染	PLoS Pathogens 2007; 3: e64	急性呼吸器感染症に罹った患者からの呼吸分泌物中に存在する新規のポリオマウイルスを同定し、WUウイルスと名付けた。WUウイルス遺伝子は5229bpで、Polyomaviridaeファミリーの特徴を持つ。系統遺伝学的分析から、このWUウイルスは、既知の全てのポリオマウイルスとは異なっていることが明白となった。オーストラリア及び米国の急性呼吸器感染症患者2135例中43例からWUウイルスが検出された。
												ウイルス感染	Proc Natl Acad Sci 2007; 104: 11424-11429	マレーシアMelakaで高熱と急性呼吸器疾患に罹っていた39歳男性から未知のDreovirusが分離され、Melaka virusと名づけられた。患者の家族も発症したが、彼らは発症前にコウモリと接触していた。遺伝子配列分析により、同ウイルスは同国Troman島のフルーツコウモリから分離されたPulauウイルスと近縁であることが示された。同島住民は109例中14例(13%)が同ウイルスに陽性であった。Orthoreovirusがヒトの急性呼吸器疾患と関係があることが初めて示された。
548	2007/09/27	70548	持田製薬	日本薬局方 注射用胎盤性性腺刺激ホルモン	日局 胎盤性性腺刺激ホルモン	ヒト(妊婦)尿	中国	有効成分	有	無	無	ウエストナイルウイルス感染	Hoy Digital エストレマドゥーラ新聞 2007年3月21日	70547に同じ